

(11)Publication number : 2002-359713  
(43)Date of publication of application : 13.12.2002

H04N 1/00

(71)Applicant : KONICA CORP

(72)Inventor : IIZUKA HIROYUKI

**(57)Abstract:**

[illegible]

**SOLUTION:** An order file with respect to a particular order includes text data and an image denoting the particular order. Expression of them by using a tag is more effective. Since the one order file includes contents of the order and image data, trouble of unable extraction of the image data at execution of the order can be prevented.

**[Date of request for examination]**

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

**[Date of final disposal for application]**

[Patent number]

**[Date of registration]**

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2003 Japan Patent Office

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2002-359713

(P2002-359713A)

(43) 公開日 平成14年12月13日 (2002. 12. 13)

(51) Int.Cl.<sup>7</sup>

H 0 4 N 1/00

識別記号

1 0 7

F I

H 0 4 N 1/00

テ-マ-ト\* (参考)

1 0 7 Z 5 C 0 6 2

審査請求 未請求 請求項の数11 OL (全 8 頁)

(21) 出願番号 特願2001-164019(P2001-164019)

(22) 出願日 平成13年5月31日 (2001. 5. 31)

(71) 出願人 000001270

コニカ株式会社

東京都新宿区西新宿1丁目26番2号

(72) 発明者 飯塚 宏之

東京都日野市さくら町1番地 コニカ株式会社内

(74) 代理人 100107272

弁理士 田村 敬二郎 (外1名)

Fターム(参考) 5C062 AA01 AA14 AA29 AC04 AC38

AF13

(54) 【発明の名称】 注文ファイル、注文データ、注文データ構造、注文方法、コンピュータ読み取り可能な記憶媒体及び注文データ生成装置

(57) 【要約】

【課題】 画像データを取り扱う注文をデータを用いて行う場合に、対応する画像データを引き出すことができないというトラブルを防止できる注文ファイル、注文データ、注文データ構造、注文装置、コンピュータ読み取り可能な記憶媒体及び注文データ生成装置を提供する。

【解決手段】 特定の注文に関する注文ファイルにおいて、特定の注文であることを示すテキストデータと画像を一つのファイルで包含させる。更にタグを用いてそれらを表現すればより有効である。このようにすることで一つの注文ファイルで注文内容と画像データを含むため、注文実行時に画像データが引き出せないなどのトラブルを防止することが可能となる。

```

<注文>
<注文番号>ad23456789</注文番号>
<注文店番号>sh876</注文店番号>
<取込店番号>sh876</取込店番号>
<注文日付>2001/05/22</注文日付>
<顧客番号>ca1882450</顧客番号>
<顧客氏名>コニカ太郎</顧客氏名>
<顧客メール>caro@konica.com</顧客メール>
<顧客電話番号>011-222-3333</顧客電話番号>
<料金>900</料金>
<画像数>3</画像数>
<プリント情報>
<画像データ ファイル名="花1">
<コード化画像>17f8a9gopfhue1nvfu2918jzpqao1soqoridhv....
.....so;soehuf837f9pduf9fd9fwkjdoppakcnfowepa</コード化画像>
</画像データ>
<枚数>18</枚数>
<サイズ>L</サイズ>
<単位>30</単位>
<紙質>光沢</紙質>
</プリント情報>
<プリント情報>
<画像データ ファイル名="花2">
<コード化画像>jgpd1qn9msd9whrrvngpoe8nvcs8chfnt8u0e7p43t57u3pw....
.....d1fnf4israovfjdlap293u5nbtatc9e8aymfud9nurf</コード化画像>
</画像データ>
<枚数>6</枚数>
<サイズ>L</サイズ>
<単位>30</単位>
<紙質>無目</紙質>
</プリント情報>
<プリント情報>
<画像データ ファイル名="花3">
<コード化画像>49trnfbeu9qjshbrurfbahsekfpgktrfbvudkondteksrl....
.....e1fnfj58euydnfjto8rkjnstu78ehndsiuezhgfgew</コード化画像>
</画像データ>
<枚数>6</枚数>
<サイズ>L</サイズ>
<単位>30</単位>
<紙質>無目</紙質>
</プリント情報>
</注文>

```

(2)

## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 特定の注文に関する1つの注文ファイルにおいて、特定の注文であることを示すテキストデータと、画像データそのものとを包含することを特徴とする注文ファイル。

【請求項2】 特定の注文に関する1つの注文ファイルにおいて、特定の注文であることを示すタグと、画像データを表すタグとを有し、該画像データを表すタグの開始タグと終了タグとの間に画像データそのものを挟んだことを特徴とする注文ファイル。

【請求項3】 上位タグとしてとして特定の注文であることを表すタグがあり、該上位タグに対する下位タグとして画像データあることを表すタグがあり、該画像データあることを表すタグの開始タグと終了タグの間に画像データそのものを挟み込んだ構造を有することを特徴とする注文データ。

【請求項4】 前記注文が、前記画像データを用いてプリントアイテムを作成する注文であることを特徴とする請求項3の注文データ。

【請求項5】 前記注文が、前記画像データを記録媒体に記録する注文であることを特徴とする請求項3の注文データ。

【請求項6】 上位タグとしてとして特定の注文であることを表すタグがあり、該上位タグに対する下位タグとして画像データあることを表すタグがあり、該画像データあることを表すタグの開始タグと終了タグの間に画像データそのものを挟み込んだことを特徴とする注文データ構造。

【請求項7】 前記注文が、前記画像データを用いてプリントアイテムを作成する注文であることを特徴とする請求項4の注文データ構造注文データ構造。

【請求項8】 前記注文が、前記画像データを記録媒体に記録する注文であることを特徴とする請求項6の注文データ構造。

【請求項9】 上位タグとしてとして特定の注文であることを表すタグがあり、該上位タグに対する下位タグとして画像データあることを表すタグがあり、該画像データあることを表すタグの開始タグと終了タグの間に画像データそのものを挟み込んだ構造を有する注文データを用いることを特徴とする注文方法。

【請求項10】 上位タグとしてとして特定の注文であることを表すタグがあり、該上位タグに対する下位タグとして画像データあることを表すタグがあり、該画像データあることを表すタグの開始タグと終了タグの間に画像データそのものを挟み込んだ構造を有する注文データを記憶したことを特徴とするコンピュータ読取可能な記録媒体。

【請求項11】 上位タグとしてとして特定の注文であることを表すタグがあり、該上位タグに対する下位タグとして画像データあることを表すタグがあり、該画像デ

ータあることを表すタグの開始タグと終了タグの間に画像データそのものを挟み込んだ構造を有する注文データを生成することを特徴とする注文データ生成装置。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、注文ファイル、注文データ、注文データ構造、注文装置、コンピュータ読み取り可能な記憶媒体及び注文データ生成装置に関する。

## 10 【0002】

【従来の技術】近年、デジタルカメラやスキャナーなどの画像データ生成機器は、画像処理技術の向上により、めざましい勢いで普及している。それに伴い、使用しているユーザーのデジタル画像に対する意識も高まり、インターネットのホームページ作成やデジタルプリントなど様々な用途で使われてきている。一方、従来ラボでは、ネガフィルムを用いてプリントを作成してきたが、デジタルカメラの普及にともない、画像プリントサービスを行う出力センターやミニラボ（小規模現像所）や集中処理を行う大ラボなども当然、デジタル画像データを取り扱うサービスが増えてきており、そのサービスバリエーションは多岐に渡る。

【0003】一方、インターネットの一般家庭への普及にともない、このようなデジタル画像データを取り扱うサービスの一例として、顧客がラボなどの管理するサーバーに、インターネットを介して画像データをアップロードすることで、ラボ側で、アップロードされた画像データに基づいてプリントを行い、顧客に提供することが行われている。かかるサービスによれば、顧客が自宅に居ながらにして、自己の所有する画像データのプリントの注文ができるという利点がある。更に、インターネットのブロードバンド化に伴い、インターネット上に顧客が自由に使用できるような記憶領域を提供するサービスが増加してきている。

## 【0004】

【発明が解決しようとする課題】ところで、例えばプリント注文をネットワークなどを介して行う場合、画像データの取り扱いが問題となる。従来技術においては、画像データのデータ量が大きいことから、プリント注文データと画像データとを別個に保存し、プリント注文データ内に、そのプリントに用いる画像データに対応付けする情報（例えば画像データを保存したファイル名など）を含ませておき、プリントの際に、かかる情報に基づいて画像データを読み出すようにしていた。

【0005】しかしながら、顧客からのプリント注文情報に対する修正要求や、生産上のトラブルから再プリントを行わなければならないといけないなどのような場合、手作業でデータベースの変更作業を行う際に、指定するはずの画像データのファイル名を間違えて入力したり、画像データを保存したファイルが消去されたり、保

(3)

3

存在が変更される場合があるが、そのような場合、プリント注文データに基づいてプリントしようとしたときに、プリントすべき画像データを見つけれずに、エラーが生じるという問題がある。

【0006】本発明は、かかる問題点に鑑みてなされたものであり、画像データを取り扱う注文をデータを用いて行う場合、対応する画像データを引き出すことができないというトラブルを防止できる注文ファイル、注文データ、注文データ構造、注文装置、コンピュータ読み取り可能な記憶媒体及び注文データ生成装置を提供することを目的とする。

【0007】

【課題を解決するための手段】第1の発明の注文ファイルは、特定の注文に対して1つの注文ファイル中に、特定の注文を示すテキストデータと、画像データそのものを包含させるので、前記注文ファイルが画像データを含む形で構成されていることから、これらを別個に保存することはなく、注文実行時に画像データが引き出せないといったトラブルを防止することができる。

【0008】第2の発明の注文ファイルは、特定の注文に対して1つの注文ファイル中に、特定の注文であることを示すタグと、画像データであることを表すタグとを有し、該画像データを表すタグの開始タグと終了タグの間に画像データを挟むので、記注文ファイルが画像データを含む形で構成されていることから、これらを別個に保存することはなく、注文実行時に画像データが引き出せないといったトラブルを防止することができる。

【0009】第3の本発明の注文データは、上位タグとして特定の注文であることを表すタグがあり、該上位タグに対する下位タグとして画像データあることを表すタグがあり、該画像データあることを表すタグの開始タグと終了タグの間に画像データそのものを挟み込んだ構造を有するので、前記注文データが画像データを含む形で構成されていることから、これらを別個に保存することはなく、注文実行時に画像データが引き出せないといったトラブルを防止することができる。ここで、「下位タグ」とは、例えば別な開始タグと終了タグとに挟まれたタグをいい、このとき、「下位タグ」を挟んでいるその別なタグが「上位タグ」となる。

【0010】更に、前記画像データは、一対の開始タグと終了タグとに挟まれていると、例えばXMLの形式で、注文データを構成できるため好ましいが、HTMLの形式で注文データが構成されていても良い。XML (eXtensible Markup Language) は、HTMLのようなシンプルなフォーマットで文書構造を記述でき、独自にタグを定義できることが特徴のマークアップ言語をいう。独自にタグを定義できるという特徴は、単なる文書を「データ」として処理することを可能にするものである。言い換えれば、XMLで記述した文書は、たとえば「<価格>」というように人

4

間が理解しやすい構造で内容を記述できるうえに、「スキーマ」を使うことで「価格」タグに書かれた「数字」を、あるアプリケーションの「価格を表わす数値データ」として利用することができる。スキーマとはXML文書内のデータを定義する情報のことである。一方、HTML (HyperText Markup Language) は、Webページを記述するための言語。文書の論理的構造や見栄えを記述するために使い、画像や音声、動画などをページ内に埋め込むことも可能である。HTML自体は「>」内に指定されたタグと呼ばれる予約語によって、他の文書へのリンクや画像ファイルのある場所などが記述されたテキストファイルである。

【0011】又、前記注文が、前記画像データを用いてプリントアイテムを作成する注文であると好ましい。プリントアイテムとは、紙などの媒体へのプリント、マグカップやTシャツなどへのプリントなどを含む。

【0012】更に、前記注文が、前記画像データをCD-R、CD-RW、DVD-R、DVD-ROM、フロッピー（登録商標）ディスク、Zip、HiFD等の記憶媒体に記憶するサービスの注文であってもよく、更にはインターネット上にある記憶領域に画像データをアップロードし保管するサービスの注文であって良い。

【0013】第4の本発明の注文データ構造は、上位タグとして特定の注文であることを表すタグがあり、該上位タグに対する下位タグとして画像データあることを表すタグがあり、該画像データあることを表すタグの開始タグと終了タグの間に画像データそのものを挟み込んだので、前記注文データ構造が画像データを含む形で構成されていることから、これらを別個に保存することはなく、注文実行時に画像データが引き出せないといったトラブルを防止することができる。

【0014】更に、前記画像データは、一対の開始タグと終了タグとに挟まれていると好ましい。

【0015】又、前記注文が、前記画像データを用いてプリントアイテムを作成する注文であると好ましい。

【0016】更に、前記注文が、前記画像データを記憶媒体に記憶する注文であると好ましい。

【0017】第5の本発明の注文方法は、上位タグとして特定の注文であることを表すタグがあり、該上位タグに対する下位タグとして画像データあることを表すタグがあり、該画像データあることを表すタグの開始タグと終了タグの間に画像データそのものを挟み込んだ構造を有する注文データを用いるので、前記注文データが画像データを含む形で構成されていることから、これらを別個に保存することはなく、注文実行時に画像データが引き出せないといったトラブルを防止することができる。

【0018】第6の本発明の記憶媒体は、上位タグとして特定の注文であることを表すタグがあり、該上位タグに対する下位タグとして画像データあることを表

(4)

5

すタグがあり、該画像データあることを表すタグの開始タグと終了タグの間に画像データそのものを挟み込んだ構造を有する注文データを記憶したので、前記注文データが画像データを含む形で構成されていることから、これらを別の記憶媒体に保存するというようなことはなく、注文実行時に画像データが引き出せないといったトラブルを防止することができる。

【0019】第7の本発明の注文データ生成装置は、上位タグとして特定の注文であることを表すタグがあり、該上位タグに対する下位タグとして画像データあることを表すタグがあり、該画像データあることを表すタグの開始タグと終了タグの間に画像データそのものを挟み込んだ構造を有する注文データを生成するので、前記注文データを画像データを含む形で構成できることから、これらを別個に保存することがなくなり、注文実行時に画像データが引き出せないといったトラブルを防止することができる。

【0020】本明細書中、画像データとは、一般的にはデジタル化された画像データをいい、具体的にはネガフィルムやポジフィルム等の透過原稿、印画紙、印刷物などの反射原稿のようなアナログで記憶された情報を量子化してデジタル化したデータや、デジタルカメラのように直接的にデジタル情報として記憶されたデータ、顧客がコンピュータ上で任意に作図した画像データ（一般的にはCG）などをいう。

【0021】ここで記憶媒体とは、CD-R、CD-RW、DVD-R、DVD-RAM、光磁気ディスク、フロッピーディスク、コンパクトフラッシュ（登録商標）、スマートメディア、メモリースティック、マルチメディアカード、SDカード、HiFD、Zip、PDなどのリムーバブルなものその他、ハードディスクのような固定の記憶媒体も含む。

【0022】又、ネットワークとは、コンピュータ・システム、端末、データ通信設備を相互に接続したものをいう。接続は専用回線、公衆回線、電力線、光ファイバのような有線で接続されていても良いし、無線で接続されていても良いし、それらの複合形態で接続されていても良い。いわゆるインターネットなどもネットワークに含まれる。

【0023】

【発明の実施の形態】以下、実施の形態を参照して本発明を説明する。図1は、本実施の形態にかかる注文データ、注文データ構造を作成できる注文データ生成装置を含むネットワークシステムを示す概略図である。顧客側の端末（ここではパソコン）11と、コンビニなどに設置された注文データ生成装置13とは、不図示のルータやモデムなど、端末やLANをインターネットに接続させるための機器を介してインターネットなどのネットワークに代表されるWAN（Wide Area Network）に接続されている。

6

【0024】一方、写真店などに設置された注文サーバー21とプリンタ22とは、互いに接続されており、注文サーバー21は、インターネットなどのWANに接続されている。

【0025】図1に基づいて、プリント注文の流れを示すと、ここで、顧客は、例えばデジタルスチルカメラ12で撮影した画像データに基づいて、写真店でのプリントを所望したとする。かかる場合、顧客は、デジタルスチルカメラ12から画像データを記憶した記憶媒体12aを取り外し、注文データ生成装置13の挿入スロット13aに挿入する。

【0026】すると、注文データ生成装置13は、挿入された記憶媒体13aから画像データを吸い上げ、それに基づき注文データを作成できるようになっている。注文データは、WANを介して注文サーバー21に送信され、その注文内容に応じて、プリンタ22でプリントが行われるようになっている。形成されたプリントは、写真店から顧客へと郵送や宅配等の手段で配送されるようになっている。

【0027】ここで、注文データの作成方法について説明する。最も単純な形態としては図5に示すように、一つの注文ファイル内にテキストデータで、注文番号=で引き続きod23456789のように注文番号を記述し、コード化画像=で引き続きテキストデータにコード化された一枚分の画像データが記述を行ったものが考えられる。また、図6に示すように、開始タグと終了タグで示される中に必要項目を記述する形で行っても同等に扱えるがタグでくくるためよりデータを確実に解釈を行うことが可能である。例えば注文番号を開始タグ<注文番号>、終了タグ</注文番号>でくくることにより確実に注文番号を判断することが出来、これは<コード化画像>、</コード化画像>でくくられた画像データに関しても同じことが言える。前記2つの例に関しては最低限オーダー番号とプリントアイテムを作成するのに必要な画像データがあればよく後述するタグを用いた例で示すように、プリント枚数、サイズ、単価、紙質、画像データファイル名、配送方法、配送業者、配送先氏名、配送先郵便番号、配送先都道府県、配送先住所、配送先電話番号などを付加情報として記述することが出来る。

【0028】図2は、注文データの一例を示す図である。記憶媒体12aを挿入スロット13aに挿入した顧客は、注文データ生成装置13の入力部（不図示）のキー操作によって、顧客に氏名、連絡先としての電話番号、Eメールアドレスなどを入力し、かつプリントを所望する画像データの指定を行う。すると、注文データ作成装置13は、図2に示すようなXML形式に基づく注文データを生成する。

【0029】このとき、注文データにおいて、最上位の開始タグ<注文>と終了タグ</注文>により挟まれたデータが、注文に関する具体的な内容であることを示

(5)

7

している。更に、その下位タグとして、開始タグ<注文番号>と終了タグ</注文番号>により、注文番号が特定され、即ち特定の注文であることが判る。その同位のタグとしては、顧客が注文登録したり、会員登録を行った店舗である<注文店舗番号>、注文を受け取るための店舗を指定している<受取店舗番号>、注文した日時を記述している<注文日時>、顧客のID番号を記述している<顧客番号>、顧客の氏名を記述している<顧客氏名>、顧客の連絡先となる電子メールアドレスを記述している<顧客メール>、顧客の連絡先電話番号を記述した<顧客電話番号>、この注文における料金を表す<料金>、プリントを行う画像数を記述した<画像数>、および後述する<プリント情報>等がある。

【0030】ここで<プリント情報>は画像データに対するプリント内容を表すものであり、注文の元になったファイル名を表す<画像データ ファイル名="ファイル名">(ここでは"ファイル名"を"花1"で表している)で記述し、この中に<コード化画像>、</コード化画像>として示されるタグの中に実際の画像データをコード化して記述する。終了タグは</画像データ>のみでよい。ここでコード化画像とは画像情報はJPGなどの形式の場合、ファイルの内容をテキストデータに変換を行って記述することにより、タグの間に入れ込むことが可能となる。更に注文データとしては、前記画像データをプリントする枚数を<枚数>、プリントするサイズを<サイズ>、プリントの単価を<単価>、光沢面や半光沢面などのプリント用紙種類を示す<紙質>などがあり、顧客の注文に応じて指定することが可能である。

【0031】以上で、<画像データ ファイル名="花1">に関するプリント注文情報が終わり、続けて別なプリント情報として、<画像データ ファイル名="花2">に関して同様に形成され、又別なプリント情報として、<画像データ ファイル名="花3">に関して同様に形成され、最後の終了タグ</注文>により、注文データがここまでであることが示される。尚、画像データを注文データ内で定義(ファイル名="花1")しておけば、同じ注文データ内では、同じ画像データを用いる場合に、再度コード化データを添付する必要はない。

【0032】図3は、本実施の形態の変形例にかかる注文データの一部を示す図である。図3の変形例は、プリントアイテムとして画像を形成したマグカップの注文に関するものである。より具体的には、図2の開始タグ<プリント情報>から終了タグ</プリント情報>までを、図3に示す開始タグ<マグカップ情報>から終了タグ</マグカップ情報>まで置換することで、プリントの代わりにマグカップの表面に画像を形成したマグカップの注文を行うことができる。<画像データ>の同位のタグとして、更にマグカップのどの位置に画像を形成するか<プリント位置種>、マグカップの色を示す<色

8

>、マグカップの単価を記述した<単価>などがあり、顧客の入力に応じてこれらの指定が可能である。尚、他のプリントアイテムとしては、Tシャツ、カレンダー、マウスパッド、ジグソーパズル、年賀状、暑中見舞い、結婚挨拶状、年賀欠礼詫び状、名刺などがあるが、これらに限られない。

【0033】このように、本実施の形態においては、注文データの下位タグにおいて、画像データをコード化して挿入することで、画像データを注文データの一部に取り込むことができ、それによりプリント注文データと画像データを一つのデータとして記憶することが可能であるため、プリント注文データと画像データを別個に記憶するような場合に起こりうるトラブルを防止することができる。

【0034】図4は、第2に実施の形態にかかる注文データの例を示す図である。図4に示す注文データにおいては、図2に示す注文データに対して、完成したプリントをどのようにして配送するか、例えば宅急便(登録商標)、小包郵便、普通郵便などを示す<配送方法>、宅配業者を用いればその業者を記述している<配送業者>、誰宛に配達するかを記述している<配送先氏名>、配送先の郵便番号を記述した<配送先郵便番号>、配送先の都道府県を示す<配送先都道府県>、配送先の住所で市町村区を記述した<配送先住所1>、<配送先住所1>に続く町村区や番地を記述した<配送先住所2>、またアパート、マンションなどの情報を記述した<配送先住所3>を必要に応じて追加しても構わない、更に配送先の電話番号を記述した<配送先電話番号>の情報が付加されている。

【0035】以上、本発明を実施の形態を参照して説明してきたが、本発明は上記実施の形態に限定して解釈されるべきではなく、適宜変更・改良が可能であることはもちろんである。例えば、端末11のハードディスクやリムーバブルな記憶媒体に、上述した注文データを作成可能なプログラムを記憶していれば、デジタルスチルカメラ12から画像データを入力することによって、かかる端末11を注文データ生成装置として機能させることができる。又、デジタルスチルカメラ12が通信機能を有しWANに接続可能であり、且つ上述した注文データを作成可能なプログラムを記憶していれば、デジタルスチルカメラ12が注文データ生成装置として機能しうる。但し、データ生成装置は、これに限られない。又、本発明はプリント注文に限らず、例えばCD-Rなどのリムーバブル記憶媒体に画像データを保存する、インターネット上にある記憶領域に画像データをアップロードし保管するというような画像データを取り扱う各種のサービスの注文に適用可能である。

【0036】

【発明の効果】本発明によれば、特定の注文に関する一つの注文ファイルにおいて、特定の注文であることを示

(6)

10

9

すテキストデータと画像データを一つのファイルに包含することにより、注文情報に対して画像データを喪失するようなことを防ぐことが可能となる。さらに、それぞれの内容をタグを用いて表すことにより、より厳格にデータを範囲を示すことが可能となる。さらに上位のタグと下位のタグという関係で表すことにより、画像データ毎にプリントサイズ、プリント枚数などが変化しても簡単に対応することが可能となり、複雑な注文内容も簡単に表すことが可能となる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本実施の形態にかかる注文データ生成装置を含むネットワークシステムを示す概略図である。

【図2】本実施の形態にかかる注文データの一例を示す

図である。

【図3】本実施の形態の変形例にかかる注文データの一例を示す図である。

【図4】第2の実施の形態にかかる注文データの一例を示す図である。

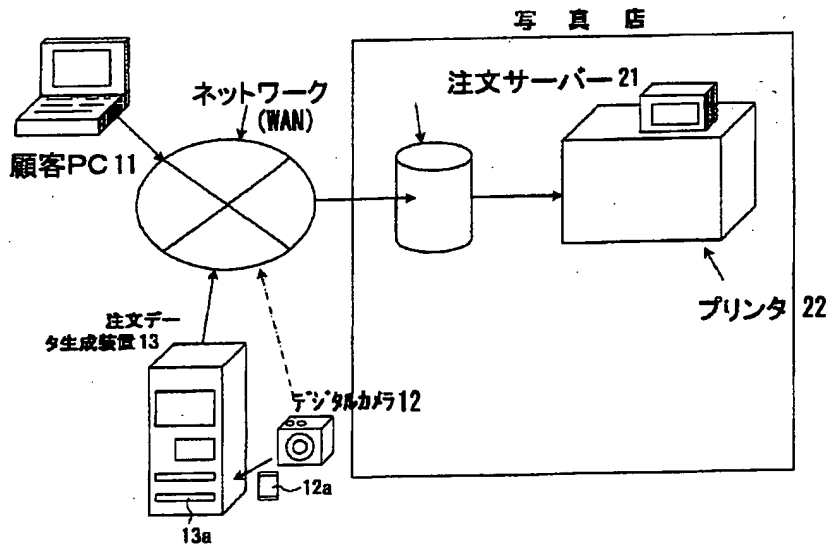
【図5】注文データの一例を示す図である。

【図6】注文データの一例を示す図である。

【符号の説明】

- 1 1 顧客側端末 (パソコン)
- 1 2 デジタルスチルカメラ
- 1 3 注文データ生成装置
- 2 1 ラボサーバー
- 2 2 プリンタ

【図1】



【図3】

```

<マグカップ情報>
<画像データ ファイル名=" 鳥1 " >
  <コード化画像>49rhnfbeuw9qjshbrufhxbahsekfpgktrfbvudkxndiekswi....
  .....eifnfj58euydhfjto@rkjnschw78ehdhsiwuehgfgew</コード化画像>
</画像データ>
<プリント位置種>LT-3Y</プリント位置種>
<色> ピンク </色>
<単価>500</単価>
<材質>陶器</材質>
</マグカップ情報>
  
```

【図6】

```

<注文番号>od23456789</注文番号>
<コード化画像> t7hg;rqerhgrehgphsa8dhf8ewgw:wengforehgoreghonvevbpquivqu:foiedgoiren
g;8cmbvuksfabvulievncalfdv;a</コード化画像>
  
```



(7)

【図2】

```

<注文>
  <注文番号>od23456789</注文番号>
  <注文店舗番号>sh9876</注文店舗番号>
  <受取店舗番号>sh8765</受取店舗番号>
  <注文日付>2001/05/22</注文日付>
  <顧客番号>cs1082458</顧客番号>
  <顧客氏名>コニカ太郎</顧客氏名>
  <顧客メール>taro@konica.com</顧客メール>
  <顧客電話番号>011-222-3333</顧客電話番号>
  <料金>900</料金>
  <画像数>3</画像数>
  <プリント情報>
    <画像データ ファイル名="花1">
      <コード化画像>t7f8w9gopfhueinvfu2910jzpqoalsoqkxidhv....
      .....so;eohuf837f9pdufh9fdbwkdqppwkcfnfowepa</コード化画像>
    </画像データ>
    <枚数>10</枚数>
    <サイズ>L</サイズ>
    <単価>30</単価>
    <紙質>光沢</紙質>
  </プリント情報>
  <プリント情報>
    <画像データ ファイル名="花2">
      <コード化画像>jgpdln9emd9whrnghpae8nxos8ehfhn0wu0e7g43t57u3pw....
      .....difnh4isnxvfjdlap293u5nbrtoic9e84ynfkd9rurf</コード化画像>
    </画像データ>
    <枚数>10</枚数>
    <サイズ>L</サイズ>
    <単価>30</単価>
    <紙質>光沢</紙質>
  </プリント情報>
  <プリント情報>
    <画像データ ファイル名="花3">
      <コード化画像>49rhnfbeuw9qjshbrufhxbahsekfpgktnfbvudkxndiekswi....
      .....eifnfj58euydhfjto0rkjnswh78ehdhdsiwuehgfgew</コード化画像>
    </画像データ>
    <枚数>5</枚数>
    <サイズ>2L</サイズ>
    <単価>60</単価>
    <紙質>絹目</紙質>
  </プリント情報>
</注文>

```

【図5】

[プリント注文]

注文番号=od23456789

コード化画像 =t7hg;rqerhgrehgphsa8dhf8ewgw:wengforehgoreghonvevbpquvqu:foiedgoircng;8e

rnbvuksfabvulicvncaifdv;a